エンドポイントの設定

- エンドポイント プロビジョニングのデフォルト値 （1 ページ）
- エンドポイント プロビジョニングのデフォルト値のタスク フロー （1 ページ）
- デバイスのデフォルト値の設定 （2 ページ）
- エンタープライズ電話の設定 （6 ページ）

エンドポイント プロビジョニングのデフォルト値

この項の情報を使用して、エンドポイントデバイスを設定し、エンドポイントにユーザを関連付けます。

Unified Communications Manager では、エンドポイントを追加する前にプロビジョニングできるように、デバイスの一連のデフォルト設定が用意されています。これらのデバイスのデフォルト設定をあらかじめ設定しておくと、新しいユーザをプロビジョニングするときに、適用される設定に基づいてデバイスが自動的に設定されます。

エンドポイントのプロビジョニングに関するデフォルト設定には次の 2 つがあります。

- デバイスのデフォルト値の設定
- エンタープライズ電話設定項目の設定

エンドポイントプロビジョニングのデフォルト値のタスク フロー

システムのデバイスを設定するには、このタスク フローを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	デバイスのデフォルト値の設定 （2 ページ）	Unified Communications Manager ノードに自動登録するデバイスに適用される、

	コマンドまたはアクション	目的
		デフォルト設定を変更できます。デバイスのタイプごとに固有のデフォルト設定があります。
ステップ 2	デバイス プロファイルの設定 （5 ページ）	**オプション**ユーザ用の特定のデバイスに関連付けられている一連の属性で構成される、デバイス プロファイルを設定できます。
ステップ 3	デフォルトのデバイス プロファイルの設定 （3 ページ）	ユーザ デバイス プロファイルが設定されていない電話機にユーザがログインするたびに電話機が取得する、デフォルトのデバイス プロファイルを設定できます。
ステップ 4	デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキー テンプレートの設定 （4 ページ）	**オプション**ソフトキー テンプレートに追加するデフォルトのデバイスプロファイルを追加できます。
ステップ 5	エンタープライズ電話の設定 （6 ページ）	同じクラスタ内のすべての電話に適用されるエンタープライズ電話の基本設定を指定できます。

デバイスのデフォルト値の設定

デバイスのデフォルト設定の更新

デバイスのデフォルト設定を構成するには、この手順を使用します。この設定を使用するとデフォルトのファームウェア ロード、デフォルトのデバイス プール、ソフトキーテンプレート、および登録方法（自動登録またはアクティベーション コード）を割り当てることができます。

始める前に

デバイスのデフォルト設定を更新する前に、システムに適用する次のタスクを実行します。

- TFTP サーバにデバイスの新しいファームウェア ファイルを追加します。
- デバイスのデフォルトを使用して、ディレクトリに存在しないファームウェア ロードを割り当てると、それらのデバイスは割り当てられたファームウェアをロードできません。
- 新しいデバイスプールを設定します。デバイスが電話の場合は、新しい電話テンプレートを設定します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration で、**[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [デバイスのデフォルト（Device Defaults）]** を選択します。

ステップ 2 [デバイスのデフォルト設定（Device Defaults Configuration）] ウィンドウで、更新するデバイスタイプに適用可能な設定を変更し、[保存（Save）]をクリックします。フィールドの説明については、オンライン ヘルプを参照してください。

- ロード情報（Load Information）
- [デバイスプール（Device Pool）]
- 電話テンプレート

ステップ 3 そのタイプのすべてのデバイスをリセットして、クラスタ内の全ノードにある該当するタイプのすべてのデバイスに新しいデフォルトをロードするには、デバイス名の左側にある [リセット（Reset）] アイコンをクリックします。

すべてのデバイスをリセットしない場合は、ノードに自動登録された新しいデバイスにだけ、更新されたデフォルト値が設定されます。

デフォルトのデバイス プロファイルの設定

ユーザがユーザ デバイス プロファイルを持たない電話機にログインするたびに、電話機がデフォルトのデバイス プロファイルを取得します。

デフォルトのデバイス プロファイルには、デバイス タイプ（電話）、ユーザ ロケール、電話ボタンテンプレート、ソフトキーテンプレート、Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）情報が含まれます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration ウィンドウで、**[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [デフォルトのデバイス プロファイル（Default Device Profile）]** を選択します。

ステップ 2 [デフォルトのデバイス プロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）] ウィンドウで、[デバイス プロファイル タイプ（Device Profile Type）] ドロップダウンリストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。

ステップ 3 [Next] をクリックします。

ステップ 4 [デバイスプロトコル（Device Protocol）] ドロップダウン リストから、適切なプロトコルを選択します。

ステップ 5 **[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 6 [デフォルトのデバイスプロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）] ウィンドウで、フィールドを設定します。フィールドおよびその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 7 **[保存 (Save)]** をクリックします。

デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified Communications Manager には、呼処理およびアプリケーション用の標準のソフトキー テンプレートが含まれています。カスタム ソフトキー テンプレートを作成するときは、標準テンプレートをコピーして、必要に応じて変更します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration から、次のように選択します。 **[デバイス（Device）]** > **[デバイスの設定（Device Settings）]** > **[ソフトキーテンプレート（Softkey Template）]** を選択します。

ステップ 2 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。

a) **[新規追加（Add New）]** をクリックします。
b) デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー（Copy）] をクリックします。
c) [ソフトキーテンプレート名（Softkey Template Name）] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
d) **[保存 (Save)]** をクリックします。

ステップ 3 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。

a) [検索（Find）] をクリックして、検索条件を入力します。
b) 必要な既存のテンプレートを選択します。

ステップ 4 [デフォルト ソフトキー テンプレート（Default Softkey Template）] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。

（注） あるソフトキー テンプレートをデフォルトのソフトキー テンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

ステップ 5 右上隅にある [関連リンク（Related Links）] ドロップダウン リストから [ソフトキー レイアウトの設定（Configure Softkey Layout）] を選択し、[移動（Go）] をクリックします。

ステップ 6 [設定するコール状態の選択（Select a Call State to Configure）] ドロップダウン リストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。

ステップ 7 [選択されていないソフトキー（Unselected Softkeys）] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー（Selected Softkeys）] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。

ステップ 8 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。

ステップ 9 [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 10 次のいずれかの作業を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用（Apply Config）] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」および「電話機とソフトキーテンプレートの関連付け」のセクションを参照してください。

次のタスク

次のいずれかの設定ウィンドウで [ソフトキーテンプレート（Softkey Template）] ドロップダウンからテンプレートを選択することで、カスタマイズされたソフトキーテンプレートをデバイスに適用できます。

- [電話の設定（Phone Configuration）]
- [ユニバーサルデバイステンプレート（Universal Device Template）]
- [BATテンプレート（BAT Template）]
- [共通デバイス設定（Common Device Configuration）]
- [デバイスプロファイル（Device Profile）]
- [デフォルトのデバイスプロファイル（Default Device Profile）]
- [UDPプロファイル（UDP Profile）]

デバイス プロファイルの設定

デバイス プロファイルは特定のデバイスに関連付ける属性セットで構成されます。Cisco Extension Mobility 機能を使用するために、作成したデバイス プロファイルをエンド ユーザに関連付けることができます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration ウィンドウで、**[デバイス（Device）]** > **[デバイスの設定（Device Settings）]** > **[デバイス プロファイル（Devicec Profile）]** を選択します。

ステップ 2 [デバイス プロファイルの設定（Device Profile Configuration）] ウィンドウで、[デバイス プロファイル タイプ（Device Profile Type）] ドロップダウン リストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。

ステップ 3 [Next] をクリックします。

ステップ 4 [デバイスプロトコル（Device Protocol）] ドロップダウン リストから、適切なプロトコルを選択します。

ステップ 5 **[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 6 [電話ボタンテンプレート（Phone Button Template）] ドロップダウン リストから、テンプレートを選択します。

ステップ 7 （任意）[ソフトキーテンプレート（Softkey Template）] ドロップダウン リストから、ソフトキー テンプレートを選択します。

ステップ 8 [デバイス プロファイルの設定（Device Profile Configuration）] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドおよびその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 9 **[保存（Save）]** をクリックします。

（注） デバイス プロファイルを使用して Cisco Extension Mobility をセットアップする方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager* リリース *12.5(1)SU1* 機能設定ガイド』を参照してください。

エンタープライズ電話の設定

エンタープライズ電話設定項目の設定

ネットワーク内の電話で使用可能な、製品固有の設定フィールドのデフォルト値を指定するには、この手順を使用します。

このウィンドウで設定するパラメータは、さまざまなデバイスの [共通の電話プロファイルの設定（Common Phone Profile Configuration）] ウィンドウおよび [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウにも表示されます。これらの他のウィンドウでも同じパラメータを設定した場合、次の順序で設定が優先されます。1）[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウでの設定、2）[共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] ウィンドウでの設定、3）[エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）] ウィンドウ。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration から、**[システム（System）] > [エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）]** を選択します。

ステップ 2 [製品固有の設定レイアウト（Product Specific Configuration Layout）] セクションの必須フィールドに入力します。

すべてのエンタープライズ電話パラメータについて説明を表示するには、[エンタープライズ電話パラメータの設定（Enterprise Phone Parameters Configuration）] ウィンドウで [?] ボタンをクリックします。

ステップ 3 [エンタープライズ電話の設定（Enterprise Phone Configuration）] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定を含むヘルプは、オンライン ヘルプを参照してください。

電話の設定

Unified Communications Manager データベースに電話を手動で追加するには、この手順を実行します。自動登録を使用している場合は、次の手順を実行する必要はありません。自動登録を選択すると、Unified Communications Manager が自動的に電話を追加し、ディレクトリ番号を割り当てます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager Administration] から、**[デバイス（Device）] > [電話（Phone）]** を選択します。

ステップ 2 [新規追加（Add New）] をクリックします。

ステップ 3 [電話タイプ（Phone Type）] ドロップダウンリストから、該当する Cisco IP Phone モデルを選択します。

ステップ 4 [Next] をクリックします。

ステップ 5 [デバイス プロトコルの選択（Select the device protocol）] ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。

- **SCCP**
- **SIP モード（SIP**

ステップ 6 [次へ（Next）] をクリックします。

ステップ 7 [電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドおよびその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

（注） セキュリティプロファイルで設定されている CAPF 設定は、[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウに表示される Certificate Authority Proxy Function の設定に関係するものです。製造元でインストールされる証明書（MIC）またはローカルで有効な証明書（LSC）に関連する証明書操作の CAPF 設定を設定する必要があります。電話の設定ウィンドウで更新する CAPF 設定がセキュリティプロファイルの CAPF 設定に与える影響の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

ステップ 8 [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 9 [関連付け（Association）] エリアで、[回線 [1] - 新規 DN を追加（Line [1] - Add a new DN）] をクリックします。

ステップ 10 [電話番号（Directory Number）] フィールドに、電話に関連付ける電話番号を入力します。

ステップ 11 **[保存 (Save)]** をクリックします。